

第1学期 保護者アンケートの結果をお知らせいたします NO. 2

※ 平均点は、A 4点、B 3点、C 2点、D 1点で計算したときの平均点です。

<学校や家庭でのお子様の様子について>

	項 目	平均点
1	自分で調べたり考えたりするなど、自ら学ぼうとする子どもに育ってきている。	2.95
2	自分なりの思いや考えをもつことができる子どもに育ってきている	3.17
3	自分の思いや考えを時や場に応じて適切に伝えることができる子どもに育ってきている。	2.93
4	約束や学校のきまりを守る子どもに育ってきている。	3.15
5	時間を守り、けじめのある生活ができる子どもに育ってきている。	3.02
6	人のために働くことの素晴らしさを感じる子どもに育ってきている。	3.05
7	自分の仕事にやる気と責任をもって取り組む子どもに育ってきている。	3.21
8	自分から元気に挨拶ができる子どもに育ってきている。	3.05
9	正しい言葉、相手を思いやる言葉をつかって話したり聞いたりできる優しい子どもに育ってきている。	2.95
10	自分や友達のよさを認め合い、助け合う子どもに育ってきている。	3.21

<ご意見・ご要望 ②>※ 個別にご返答すべき事柄等、掲載してないご意見もあります。ご了承ください。

- ・ 職員室に行ったときに挨拶を返してくれない大人がいます。「なぜだろう？」と不思議がっていました。私も役員をしていたときに職員室を訪ねたときにそう感じたことがあり、子どもと話してみるとどうやら先生ではない職員の方だと思うのですが、教職員ではないとしても学校という場でお仕事をされているならば子どもの見本となる大人の姿を見せていただきたいと思います。
- まずは、お子様や保護者の方をそのようなお気持ちにさせてしまいましたことを、お詫び申し上げます。職員室にいる職員には、大人であっても子どもであっても人の出入り、動きや声に敏感であり、挨拶はもちろんのこと親切かつ適切な対応をするように指導しております。今後、このようなことの無いように努めます。
- ・ 成長段階のことなのでしょうが、男子が女子をあだ名で呼んだり、「死ぬ」「消えろ」の言葉を言うてくるそうです。うちの子は気にする方なので二日間学校を休むことができました。担任の先生もお電話などで状況を聞いてくださり、悪いことを言うてしまうお子様に指導していただきました。担任外の先生が入って少人数クラスもしてくださっているので学校も対応してくれているなあと感謝しております。
- 自分が発する「言葉」が、人を傷つけたり不快にさせたりすることを自覚させ、温かく丁寧な言葉、相手や場に応じた適切な言葉を使えるようにする指導に力を入れてきていますが、なかなか改善されない子どももいると思います。指導の仕方を工夫しながら、みんなが気持ちよく過ごせる環境をつくっていくことを目指して取り組んで参ります。
- ・ いろいろな子どもたちがいるので悪い子だけでなくもっと他の子にも目を向けてほしい。
- 1学級に約20人から30人の子どもたちが在籍しますが、各学級担任は、一人一人のその日の様子や、よさや頑張り、課題や特性等をしっかり見て把握し、指導に当たっています。しかし、こうしたお声をいただくのは、担任がお子様のことをよく見ていないと思われる状況があったのであろうと推察します。申し訳ないです。言動が目立つ子どもへの対応ばかりが目につくこともあろうかと思いますが、各担任が一人一人に応じた指導・対応に力を尽くしていることに信頼をおいていただけるとありがたく思います。
- ・ 未だ学校行事やお知らせの日程の間違が多いのにはうんざりします。きちんと精査して通信やお便りをお願いします。
- 以前も同様のご指摘をいただき、精査に努めておりますが、まだそのような間違いが多いということは申し訳ないです。お手数かとは思いますが、誤りがあつたときには連絡帳等でご指摘いただくと大変ありがたいです。
- ・ 個々の能力を伸ばすことも大切であるが、集団生活の中で人の立場に立って思いやりのある行動がとれる子どもたちに育成していただきたい。
- おっしゃるとおりです。学校は小さな社会であり、集団生活を学ぶ場ですから、集団の中で他者の立場や気持ちを考え行動すること、協力することや助け合うことも、たくさん経験させて学ばせていきたいと考えます。
- ・ このご時世、仕方ないことかもしれませんが、過保護すぎるのではと思うことがあります。
- ご意見と同じような思いを抱くこともよくあります。子どもをしっかり自立させることに向けて教育を行っているのですから、転ばぬ先の杖をつき過ぎるのは、自立を阻害するように思います。ただ、現在の子どもたちを取り巻く社会情勢では、守ることを最優先せねばならない状況も多く、悩ましいです。
- ・ 早起きはできますが早寝はなかなかできません。宿題の量の多さから逃げたいのか、後回しにしようとし、結果早寝ができないことへつながっています。口うるさく言いたくないのですが親子げんかになったり、夕方は宿題をさせることで一杯一杯になってしまいます。
- こうして、ご家庭でお子様は宿題をすること、早寝早起きをすることに、心を砕いていただいていることに感謝申し上げます。学校では、学年×10分を家庭学習の時間の目安として、宿題+自主学習をするように指導をしています。最近では、市全体で家庭学習の重要性が叫ばれるようになっており、家庭学習ハンドブックも配布されました。帰宅後の時間の使い方も含めて学校でも指導をしていきます。保護者の皆様のご協力、ご支援もお願いいたします。